

- 「葛飾区地域福祉活動計画 一素案一」についてお寄せいただいたご意見について、ご報告します。

提出されたご意見と葛飾区社会福祉協議会の考え方

1 計画全体に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
1	今日改めて活動計画が策定されるのは、今までの活動が陳腐化したのか、効果が十分でなかったのか。	P 4 これまでの地域福祉活動 ◎従前の計画のもとでも一定の成果をあげていますが、介護保険制度や障害者自立支援法の施行などにより、福祉制度が大きく変化しましたので、その変化に対応する新たな計画が必要となったものです。
2	精神障害者と認知症を抱える家族のニーズに適した活動がない。そこで、地域福祉活動計画策定委員に障害者団体の代表を参加させてほしい。	P 9 区民が参画して検討 P 7 3・7 4 葛飾区地域福祉活動計画策定委員会委員等 ◎今回の計画策定では、公募区民を含め、区内各界の代表（自治町会、民生委員児童委員、福祉施設、医師会、歯科医師会、障害者、高齢者、ボランティア、ボランティア代表、行政など）に参画いただいた委員会で検討を行いました。
3	年寄は、地域の活動を通して、友人をたくさん作ることができる。住みよい環境を作り、安心して暮せるまちを作ってほしい。	P 3 7 基本目標3等 ◎身近な地域において、地域福祉活動を進め、安心して暮らせる地域づくりを進めます。

2 小地域福祉活動の推進に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
4	高齢化率がアップしても、元気で生活できるよう介護予防も大切だと思う。	P 4 1 どんな活動をするのか ◎ふれあい交流活動などで、介護予防につながる活動にも取り組むことができると考えます。
5	精神障害者・認知症・高齢身体障害者等の本人及び家族の団体も小地域福祉活動にぜひ参加したい。新たにメンバーを募るとあるが、どのような方法で募るのか。	P 4 4 活動を立ち上げ、発展させる手順は ◎地区内の方ならどなたでも参加できます。 ◎募集方法については、今後のモデル地区の中で、検討してまいります。
6	住民全てに係わる課題の永続的、有効的解決方法は、それに係わる全ての人何らかの形で参画する事ではないか。全員参加の活動組織づくりが成功のカギと考える。	P 4 4 区民・関係機関・社会福祉協議会・行政の役割は等 ◎小地域福祉活動は、身近な地域において活動組織などを新たに設けるものですが、地区内の方ならどなたでも参加できるようにすることが最大のポイントと考えます。
7	50ページのコーディネーター研修は、推薦を受けた人だけでなく、希望者は受講できるようにしたらどうか。やる気のある人材の発掘につながると思う。	◎会場や講座規模の制約もありますが、一般の方も対象にしたいと考えます。
8	最近「パトロール中」というステッカーを付けた自転車をよく目にする。自分や家族にとってメリットがあるからだと思う。崇高な施策も実施できなければ机上の空論と化す。メリットや動機付けもある地道な活動が、施策推進の土台になると思う。	◎支えている側もいずれ支えられる側になること、また、「社会貢献活動によるやりがい」などを訴え、小地域福祉活動を推進していきたいと考えます。

3 ボランティアの参加促進・育成に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
9	聴覚障害者には、手話通訳者派遣だけでなく、要約筆記者（OHP及びノートテイク）の育成や手話と同等の要約者の派遣を望む。	◎18年度、ボランティアセンターで要約筆記講座（入門編）を開催しております。 ◎区は、要約筆記者の派遣事業を19年度から開始すると伺っています。
10	生活の場が「職場」であり地域密着でない者には、小地域福祉活動は不向きではないか。地域概念のほかに、団塊の世代への対応と同様に生活の場のような軸を組み込んだらどうか。	P56 ボランティア参加促進・育成 ◎小地域福祉活動の担い手となる地域ボランティアの育成などについては、様々なボランティア講座の中で取り組めます。

4 ボランティア活動の支援に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
11	区には、市民活動支援センターが別にあるので、そこの役割分担や協力体制などについて、ふれた方がよいのではないか。	P57 ボランティア活動の支援 ◎計画書に「行政やNPO等と協働して」と、文言を加えさせていただきました。
12	「強制しない」「楽しく活動」をモットーに長年ボランティアにたずさわっている。せっかく参加しても人間関係がうまくいかず、やめる方がいるなど理想どおりにはいかない。	P57 ボランティア活動の支援 ◎ボランティア相談・紹介・登録など、ボランティア活動に対するあらゆる相談に応じています。

5 在宅福祉サービスの充実に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
13	私は、区内に住む中途失聴者です。いつもお世話になっている手話通訳者及び要約筆記者の方々との交流の機会を持たせていただきたい。	◎障害者団体と手話通訳者の協会とは、定期的に交流の場が設けられていると伺っています。中途失聴者の参加については、団体に働きかけをしたいと考えます。

6 福祉団体の支援に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
14	中失難聴者間で「同障者のネットワークづくり」をして、お互いに助け合いたい。区在住の同障者に呼びかける手段がほしい。区報、社協だより、ボランティアだよりなど広報への掲載を是非お願いしたい。	◎社協だよりやボランティアセンターだよりについては、スペース的に制約がありますので、社協ホームページでの掲載を検討してまいりたいと考えます。

7 災害ボランティア活動の支援に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
15	災害時のボランティア受け入れ体制について、NPO等実際に被災地で活動している団体がノウハウを持っていると思われる。NPO等と協働で、あるいは協力を得ながらというような表現を加えてはどうか。	P 6 3 災害ボランティア受け入れ体制の整備 ◎受け入れ体制整備の中で検討してまいります。

8 広報・啓発活動の充実に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
16	意識調査の回答が38%しかなく、その3割近くが「参加したいと思わない、参加したい活動はない」という状況では、計画の理念からほど遠く感じられる。どうしたら関心をもってもらえるか、知ってもらえるかが重要だと思う。	P 6 6・6 7 広報・啓発活動の充実 ◎社協だよりを活用するとともに、新たに「メールマガジンの発行」による情報発信を考えております。

9 活動計画推進体制の整備に関するもの		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
17	活動・施策の評価について、どの施策が効果があったのか（区民が参加、あるいは感謝したのか）を個別具体的に検証すべきだと思う。そうすることで、計画や施策が進化していくものと思う。	<p>P 6 8 事務事業評価制度による事務事業の見直し</p> <p>P 6 9 活動計画の進捗管理</p> <p>◎外部委員による評価などにより、事務事業や活動を評価し、柔軟かつ効果的に見直しを行ってまいります。</p>

10 その他		
	意見の概要	社会福祉協議会の考え方
18	今日、全国民が望んでいる事は、安全、安心ではないだろうか。更生保護に関する活動も含んでも良いのではないか。更生保護と犯罪予防は表裏一体であり、安全、安心の一助である。	◎国が検討している更生保護法案では、保護観察制度の有効機能を考えているようですので、その動向をみながら、地域福祉活動がどう関わることができるのか検討してまいります。
19	行政書士会葛飾支部は、権利擁護センター（しっかりサポート）における専門相談や成年後見制度利用支援に協力をしたいので、検討をお願いしたい。	◎成年後見制度は、多くの関係者、関係団体との関わりの中で普及されるものと考えています。今後の相談状況などをみながら、検討させていただきます。